



煙山ダム

国営施設応急対策事業

雫石川沿岸地区概要書

東北農政局

北上土地改良調査管理事務所

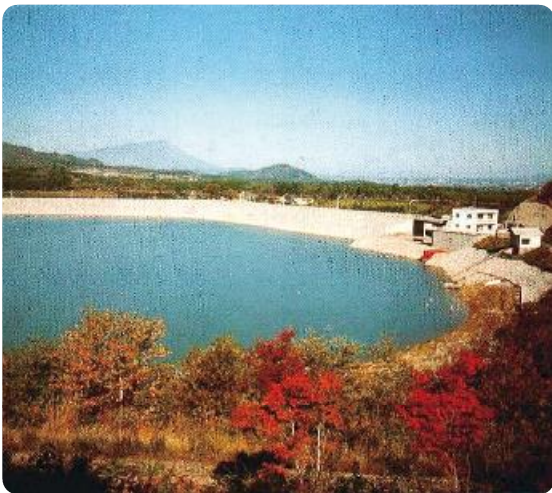
① 雫石川沿岸地区の概要とこれまでの経緯

本地区の営農は、稲作を中心に、水田の畑利用による小麦、大豆及びねぎ等を組み合わせた農業経営が展開されています。

本地区を流れる河川のうち、岩崎川及び大白沢川は、度重なる洪水のため、河道の荒廃が激しく、災害を繰り返していました。

この両河川の洪水調節を目的とし、国営雫石川土地改良事業（昭和39年度～昭和43年度）により煙山ダムが造成されました。

この結果、耕地の流亡、湛水被害が解消され、水稻の生産性が飛躍的に向上し、農業経営の発展が図られています。



煙山ダムの完成状況（昭和43年）

② 事業計画の概要・目的

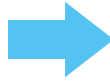
煙山ダムは、供用開始から50年以上が経過し、流木の漂着等により斜樋ゲートが異常停止する不測の事態が発生しているとともに、コンクリート構造物のひび割れや欠損、貯水池内の堆砂の進行等による施設の機能低下が生じており、用排水操作に支障をきたし、施設の維持管理に多大な費用と労力がかかるようになっていきます。

このため、施設機能を保全するための整備を行うことにより、農業用水の安定供給、排水機能の維持、施設の維持管理費の節減と労力の軽減及び施設の長寿命化を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資することを目的としています。

1) 関係市町	岩手県紫波郡矢巾町、紫波町	
2) 受益面積	856ha（水田 856ha　：用水 114ha、排水 742ha）	
3) 予定工期	令和元年度～令和7年度（7年間）	
4) 総事業費	1,500百万円（計画時点：平成29年度単価）	
5) 主要工事		
施　　設	数　　量	内　　容
堤　　体	1式	貯水池の堆砂除去、排水ドレーン（暗渠）の設置
余　水　吐	1式	余水吐の補修
取　水　施　設	1式	斜樋の補修、ゲート設備の更新
放　流　施　設	1式	隧道・開渠の補修、ゲート設備の更新
管　理　施　設	1式	管理棟・管理艇庫の補修、擁壁工・連絡橋の補修、網場（流木止め）の新設、放流警報設備の新設

③ 施設の現状と整備計画

現 状
貯水池における堆砂の進行

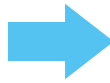


整備計画
ダムに堆積した土砂を撤去

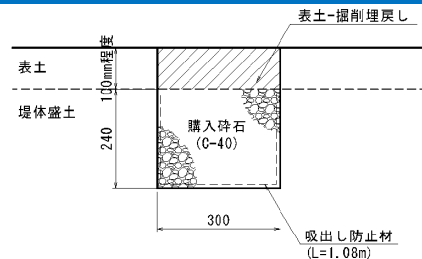


堆砂除去工事の施工状況

現 状
堤体下流法面に雨水が滞留

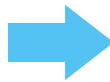


整備計画
堤体に排水ドレーンを設置



排水ドレーン標準断面

現 状
コンクリート（余水吐）の劣化



整備計画
亀裂や剥離など劣化状況に応じ補修



改修後の余水吐

現 状
ゲート設備（取水施設）の劣化



整備計画
铸铁製からステンレス製ゲートに更新



ステンレスゲート（イメージ写真）

現 状
余水吐に漂着した流木



整備計画
貯水池に網場（流木止め）を設置



網場設置（イメージ写真）

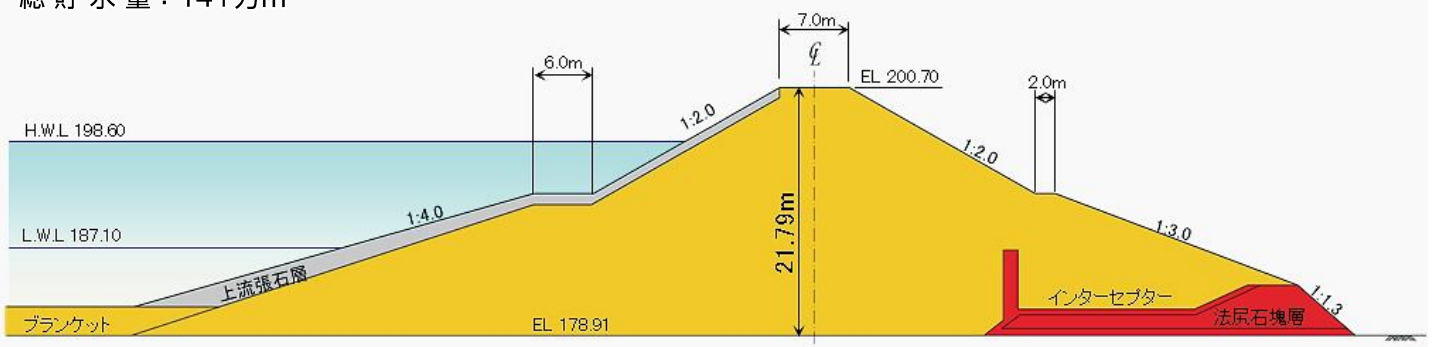
④ 煙山ダムの改修内容



⑤ 煙山ダムの概要

ダムの形式：均一型アースダム
 ダムの高さ：21.8m
 堤体の長さ：528.5m
 堤体の堆積：約46万 m^3
 総貯水量：141万 m^3

ダム建設期間：昭和39年度～昭和43年度（供用開始：昭和44年度）
 ダム造成者：東北農政局
 ダム管理者：矢巾町（平成11年4月1日 農林水産省から管理委託）



農林水産省東北農政局
 北上土地改良調査管理事務所
 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸7-25
 盛岡合同庁舎3階
 TEL.019-613-2533（代表）
 FAX.019-654-0271

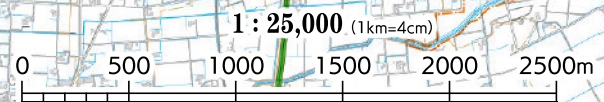


雫石川沿岸地区一般計画平面図



東北農政局 北上土地改良調査管理事務所

凡 例	
施設計画	
	ダ ム
地区界(国営)	
	水 田
	煙山ダム流域



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)を使用したものである。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R.5JHs 6338)